

平成29年度事業報告

社会福祉法人長野県社会福祉事業団

平成29年度長野県社会福祉事業団事業報告

長野県社会福祉事業団（以下「事業団」という。）は、「長野県社会福祉事業団第3次長期構想（以下「第3次長期構想」という。）に基づき事業を推進し、事業団理念の『誰もが笑顔で輝く社会を創造します』～夢・情熱・連携が織りなす豊かな暮らし～に基づき、県、市町村、福祉団体、地域住民や NPO 法人等との協働やネットワークの形成を図りながら、障がいのある方もない方も共に暮らす共生社会の実現に向け、今年度これまで直接的な事業展開をしていなかった、大北地域での障害者就業・生活支援センターの受託や地域で暮らす障がい者への就業支援や生活介護を目的とする事業所の移転開設に向けた準備を行いました。

一方、「改正社会福祉法」が全面施行され、役員等の権限・義務・責任の明確化、評議員による理事等を牽制監督する仕組み、会計管理の専門機関である会計監査人制度、内部監査室の設置等、法人が自律的に適正な運営を確保するためのガバナンスの強化取組を実施しました。

1 経営・組織体制の確立

(1) 事業団事業所の事業及び職員体制

ブロック	事業所名1	事業所名2	委託	事業名	利用者数				備考	職員数(29.4.1)	
					定員	現員				*1	
						29.4.1	30.3.31	増減			配置合計
	法人本部			—	—	—	—	—	11		
長野	水内荘			施設入所支援	40	39	40	1		31	
				生活介護	60	58	57	△1			
				短期入所(併設型)	6	—	—	—			
				特定・一般相談	—	—	—	—			
		みのちGHセンター			共同生活援助	71	67	61	△6	2ホーム廃止(30.3.31)	35
		歩楽里	市委託		地域生活支援(相談等)	—	—	—	—		14
				基準該当事業	—	—	—	—			
				障害児通所支援	—	—	—	—			
				放課後デイサービス	10	31	40	9			
		八雲日和			特定・一般・障害児相談	—	—	—	—		17
			就労継続支援B型	25	21	21	0				
	小春日和			生活介護	25	25	24	△1		9	
			就労移行支援	6	2	1	△1				
	長野市地域活動支援センターこぶし			就労継続支援B型	14	15	17	2		4	
			市指定管理		地域活動支援センター	15	18	19	1		
松本	信濃学園	県指定管理		施設入所支援(児童)	30	25	28	3		38	
				施設入所支援(成人)	—	3	1	△2			
				生活介護	—	3	1	△2			
				短期入所支援(空床)	—	—	—	—			
				日中一時支援	—	—	—	—			
		松本あさひ学園	県指定管理		情緒障害児短期治療(入所)	30	24	18	△6		28
				情緒障害児短期治療(通所)	5	3	2	△1			
		松本ひよこ			生活介護	21	19	20	1		36
				就労継続支援B型	18	17	16	△1			
				共同生活援助	23	21	21	0			
			重度障害者等包括支援(再掲)	5	5	5	0				
	大北圏域障害者就業・生活支援センター	国委託		障害者就業・生活支援センター	—	—	—	—		2	
			県委託		障害者就業・生活支援センター運営	—	—	—	—		
上伊那北部	ほっとGH伊北			共同生活援助	86	81	80	△1		64	
				特定相談	—	—	—	—			
	ほっとGH伊南			共同生活援助	47	44	45	1		54	
				地域生活支援	—	—	—	—			
	ほっと居宅			基準該当事業	—	—	—	—		5	
				生活介護	15	14	14	0			
	伊那ゆいま～る			就労継続支援B型	20	25	27	2		19	
				特定相談	—	—	—	—			
	ほっとワークス・みのわ			就労継続支援B型	20	25	24	△1		10	
			特定相談	—	—	—	—				
辰野町障がい者就労支援センター			就労継続支援B型	20	23	22	△1		9		
			特定相談	—	—	—	—				
辰野町地域活動支援センター		町指定管理		地域活動支援センター	20	17	16	△1	3		

上伊那南部	西 駒 郷	駒ヶ根支援事業部	県指定管理	施設入所支援	95	90	88	△ 2	173
			"	短期入所支援(空床)	—	—	—	—	
			"	生活介護	140	120	121	1	
			"	自立訓練(生活訓練)	10	休止	—	—	
			"	就労継続支援A型	20	11	12	1	
		"	特定・一般相談	—	—	—	—		
		富田支援事業部	県指定管理	施設入所支援	30	13	13	0	
			"	短期入所支援(空床)	—	—	—	—	
			"	生活介護	20	16	16	0	
			"	就労継続支援B型	54	53	52	△ 1	
	"		就労移行支援	6	3	1	△ 2		
	上伊那圏域障がい者総合支援センター	市町村委託	地域生活支援(相談)	—	—	—	—	22	
		県委託	障がい児等療育支援	—	—	—	—		
		"	発達障がいサポートマネージャー整備	—	—	—	—		
		国委託	障害者就業・生活支援センター	—	—	—	—		
		県委託	障害者就業・生活支援センター運営	—	—	—	—		
		市町村委託	精神障がい者地域生活移行コーディネーター整備等	—	—	—	—		
"		特定・一般・障害児相談	—	—	—	—			
障がい者福祉センター	県指定管理	スポーツ運動支援	—	—	—	—	30		
	"	レクリエーション活動支援	—	—	—	—			
	"	文化活動支援	—	—	—	—			
	"	登録ボランティア養成	—	—	—	—			
	"	啓発・広報・情報提供	—	—	—	—			
合 計			A:施設入所利用者	225	194	188	△ 6	614 (正規:214) (非正規:400)	
			B:日中活動利用者	534	519	523	4		
			C:GH利用者	227	213	207	△ 6		
			総 合 計	986	926	918	△ 8		
[留意事項] * 1 職員数欄には、短時間労働職員も含まれる。								平成28年度職員数	627 (正規:207) (非正規:420)

(2) 経営・組織

ア 会議の開催

事業計画、予算、決算などの重要事項について下記会議を開催しました。

(ア) 評議員会の開催 (定時評議員会 1 回 (6 月) と臨時評議員会を 3 月及び必要に応じて)

開催日	内容
6/22	理事・監事、会計監査人選任 平成 2 8 年度収支決算に係る計算書類及び財産目録承認、平成 2 8 年度事業報告
10/26	平成 2 9 年度中間報告、情報交換会、事業所視察
3/20	理事の選任 平成 3 0 年度事業計画、収支予算について

(イ) 理事会の開催 (評議員会開催の約 2 週間前と必要に応じて)

開催日	内容
4/1	理事長及び常務理事の選定
5/23	諸規程の改正、評議員候補の推薦
6/8	平成 2 8 年度事業報告及び収支決算
6/22	理事長及び常理事務の選定
10/26	平成 2 9 年度中間報告、理事長、常務理事の職務執行状況、組織の改正について、情報交換会、事業所視察
3/8	平成 3 0 年度事業計画、収支予算について 理事長、常務理事の職務執行状況

(ウ) 経営委員会の開催 (月 1 回)

回数	内容
1 3	事業計画、報告、予算執行について 諸規程、運営規程等の改正について 職員採用について 虐待防止の取組について 職員研修について

(工) 所長会議の開催（評議員会開催の約2週間前）

回数	内容
3	事業計画、報告、予算執行について 各事業進捗状況報告 懸案事項の検討

イ 事業団委員会の運営

事業団委員会は、第3次長期構想の推進役であると同時に進捗管理を行う重要な役目を担っています。

本年度は、管理部門に改正社会福祉法において義務化されました法人の社会貢献活動に対する取り組みの充実を図るための委員会と、新たな課題への対応を行うプロジェクトを新設して検討を行いました。

○平成29年度事業団委員会

<管理部門>

委員会名	実施内容
運 営	・「目標管理と勤務評価」、「事業団ブロック制」の2つの課題について検討 「目標管理と勤務評価」については課題を経営委員会へ提言（次年度検討）
広 報	・「やまなみ」（事業団広報誌・年2回発行）の発行 ・システムネットワーク化の運用について協力依頼 ・法人としての広報やホームページの在り方について検討（ホームページは方向性を提案）
研 修	・「29年度事業団研修」の検証（各ブロックの研修状況、キャリアパス連携を含む） ・「30年度事業団研修計画（案）」の作成
地域貢献（新）	・法人として取り組むべき地域貢献のアイデアを取りまとめ経営委員会に提案（次年度検討）

<支援部門>

委員会名	実施内容	
施設生活支援	・地域生活拠点事業に伴う短期入所事業の在り方について検討（他法人見学含む）	
地域生活支援	・高齢化への対応、人材不足について各事業所の情報共有 ・サテライト型ホームについての外部講師による研修会の実施	
日 中 活 動 支 援	就労支援 部会	・各事業所の状況確認、実地指導の指摘事項の共有 ・事業所視察（他法人1（就労A事業所）、事業団2）
	生活介護 部会	・共通課題の確認（高齢期への対応、重度者への支援方法・内容） ・事業所視察（他法人1）
相談・居宅支援	・相談支援、居宅介護各事業の現状と改題の確認 相談支援 スキルアップ研修の必要性 居宅介護 ヘルパー高齢化に伴う人材募集の工夫、スキルアップの方法	

<プロジェクト>

事業団委員会名	実施内容
信州駒天駅伝実行委員会	・「第7回信州駒天駅伝」の企画、実施 ・10/22 開催（にしこま祭と共催）7チーム37人参加

事務業務整備委員会 (新)	・「マニュアルの作成」、「経費削減に向けた取組み」、「IT システムの効果的な運用」、「情報管理指針の作」の各課題についてグループごとに検討 ・「経費削減に向けた取組み」についてアンケートの実施
西駒郷のあり方検討会 (新)	・「県のあり方検討会報告」に基づく法人としての方向性について西駒郷整備委員会と合同にて検討（次年度継続）
ほっとワークス・みのわ移転検討会 (新)	・移転に向けてブロック内で協力して取り組むため日程や分担を確認
豊智福社会連携検討会 (新)	・豊智福社会との意見交換を複数回実施

(3) 各事業所の主な施設整備

○施設整備及び住・作業環境等の改善状況

(単位：千円)

事業所	内 容	金額	備考
信濃学園	ボイラーの改修工事（県指定修繕）	17,820	老朽化
〃	エアコンの改修工事の設計（県指定修繕）	3,996	老朽化
松本ひよこ	3 ホームへのスプリンクラー設置	22,067	安全対策
ほっと GH 伊南	2 ホームへのスプリンクラー設置	7,819	安全対策
ほっとワークス・みのわ	移転開設先の「ほっとジョイブ」の建設工事	315,094	移設
西駒郷	まつば支援課のサッシ全面改修（県指定修繕）	18,867	安全対策
	外部監視カメラ設置工事（県指定修繕）	4,374	
障がい者福祉センター	自動火災報知・防排煙盤報知設置修繕	3,672	安全対策
	照明制御設備修繕（県指定修繕）	2,494	

(4) 公益事業

県から受託した、介護福祉士等を目指す学生への修学資金等の貸付事業の状況は次のとおりです。

	平成28年度		平成29年度	
	貸付者数 (年度末)	中途辞退者 (年度末)	貸付者数 (年度末)	中途辞退者 (年度末)
修学資金等貸付事業	81人	1人	203人	3人
再就職準備金貸付事業	10人	0人	46人	2人
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業	6人	0人	9人	1人
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	19人	0人	39人	0人
保育士修学資金貸付事業	6人	0人	118人	3人
保育補助者雇上費貸付事業	1法人	0法人	4法人	0法人
未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業	3人	0人	12人	0人
保育士就職準備金	0人		3人	0人

(5) 人事管理

ア 人事制度の定着化

職員のモチベーションアップと、評価の結果を人事・給与などの処遇に反映させ、職員の適正に応じた人事管理を行うことにより、職員意欲と資質向上を図ることを目的に実施している、目標管理制度及び勤務評価制度について、目標設定時の公平性の観点や評価方法等に不整合が生じているため、運営委員会にて改善に向けた課題整理を行い、次年度改善に向けた準備を進めました。

イ 職員の採用

新規採用職員募集に対する応募者の減少に対応するため、初任給アップや一般企業に準じた募集時期の見直し、4回の採用試験を実施しましたが採用定数を満たすことが出来ませんでした。また、新たに高校生枠とし採用募集を行いました。認知度が薄く応募者を募ることが出来ませんでした。引き続き採用方法等を検討するとともに、他の福祉他団体等とも連携し、福祉人材の確保に向けた取組を実施していきます。今年度の採用状況は以下のとおりです。

○平成30年4月1日付 新規採用職員内訳

階 層	職 務	人 数
総合職	主事、支援員	5人
一般職	主事、支援員、指導員 (うち非常勤職員からの転換)	21人 (11人)
計		26人

ウ 有期労働者への対応

労働契約法及び事業団非正規職員就業規則の改正により、次年度より対象者と協議が開始されるため、再度管理者を中心に制度の概要について周知徹底の機会を設けました。

エ 人材育成

福祉サービスは、「人を相手とし、人が行う専門的な対人サービス」であることから、職員の質を高めることの重要性が非常に高い職種と言えます。そのために、効果的な人材育成に努めました。

(ア) 人材育成システム

これまでの、事業団の人材育成の目的や方法等が不透明な部分があり効果的な人材育成という点では課題がありましたのでキャリアパス制度を基本として人材育成を行いました。

(イ) 事業団研修の開催

「研修要綱」に基づき、下記のとおり事務局主催の「事業団研修」を実施しました。本年度の重点的項目に対する実施内容は次のとおりです。

① 幹部職員の経営意識の向上

・管理者研修において常務理事より事業団の課題の講義を受け、「働きがい」や「管理者に必要なこと」についてグループワークを行いました。

② 虐待防止意識の向上と環境整備

・支援技術（意思決定支援）の向上を図るために介護保険施設（長野、上伊那各1ヶ所）への体験研修を行いました。（係長、主任各1人）

・虐待防止に関する研修はブロックまたは各事業所単位で実施しました。

③発達障害者児者支援及び相談技術の実践的な研修場面の設定

・発達障がい児者への取り組みを学ぶために長期派遣研修（期間：1 か月、研修先：（社福）林檎の里 障がい者支援施設あおぞら）を行いました。（支援員 1 人）

* ②、③の体験・派遣研修で得た知識・技術は、伝達研修を行い周知しました。

○平成29年度「事業団研修」実施内容

<全体研修>

区分	主催	研修名	回数	延人数	内 容	
全職員	全体	団	事業団レベルアップ研修	3	293	コンプライアンスに関する通報制度、第3次長期構想
	階層別研修	新規	団	期首・修了	2	58
外部			公社公団新規採用職員研修	1	5	健康管理、人権教育等
中堅		団	5年目職員研修	1	11	「主語をわたしで語る支援」外部講師
			OJTリーダー研修	2	27	講義、意見交換
外部		公社公団中堅職員研修	1	2	フォローアップと問題解決	
主任・係長		団	リーダー研修	2	47	復命研修、意見交換
		外部	経営協「主任係長講座」	1	1	セルフリーダーシップ等
外部			公社公団係長級研修	1	4	リーダーの役割、リーダーシップ等
幹部		団	管理者研修	2	50	ハラスメント防止、事業団課題への意見交換
		外部	中央福祉学院施設長専門講座	1	2	スクーリング、論文提出等
専門研修	事業団		経理事務担当者研修	1	21	財務システムネットワーク化、各事業所課題
			看護師研修	1	14	意見交換
			栄養士研修	1	6	「GHにおける食事支援」
			看護師・栄養士合同研修	1	16	「精神薬について」外部講師
			心理・支援員研修	2	19	講義、交換研修復命
			発達障がい児者支援特別研修	4	32	論文作成
	他団体		全事協「専門性を向上させる研修」	1	1	労務管理講座
			全事協関東・甲信越ブロック研修	1	10	群馬県、講演等
派遣	事業団		事業所間交流研修	1	8	希望事業所での体験研修
			他施設視察研修	3	3	社福林檎の里「あおぞら」への長期派遣研修、介護保険施設での体験研修

2 管理業務の充実

(1) 健康管理

職員自らの心理的な負担の程度を把握するため、全職員対象に「ストレスチェック」を実施しました。検査の結果、一定の要件に該当する職員から申し出があった場合には、医師による面接指導の実施や医師の意見に対し、必要に応じた就業上の措置を講じました。

(2) リスクマネジメントの強化

「利用者が安全で安心して生活できる環境」を整備するため、各事業所において「ヒヤリ・ハット報告」を活用した、事故の予防、発生時の対応や再発防止に向け取り組みましたが、以下の事故が発生してしまいました。再度、「事業団リスクマネジメントに関する指針」に基づき、再発防止策を考案しました。なお、今年度は各事業所において防犯対策について以下の充実を図りました。

○事故事案

事業所名	性別・年齢	内容	主な対策
西駒郷	男性	入浴中の溺死	支援体制の強化、個別支援方法の見直しと職員への周知徹底、設備改修
	男性	入浴中の火傷	

○病死案件

事業所名	性別・年齢	原因	状況
水内荘	女性 46 歳	多臓器不全	原因不明、入院先にて死亡。
松本ひよこ	男性 43 歳	大腸癌	在宅利用者、入院先にて死亡。
ほっとGH伊北	男性 63 歳	心筋梗塞	肺線維症の為入院。退院後容態が急変しホームにて死亡
	男性 55 歳	多臓器不全	癌のため、GH にてターミナルケア実施。容態悪化したため入院。（入院先にて死亡）
西駒郷	男性 44 歳	肺炎	てんかん発作のため、入退院を繰り返していたが容態急変にて死亡。
	女性 46 歳	多臓器不全	癌の為、入院先にて死亡。

○各事業所の防災・防犯に対する取組状況（アンダーラインは新たな取り組み）

事業所名	防災訓練	防犯訓練等	特記事項
水内荘	避難・消火・通報訓練	外灯設備の改修、防犯講習への参加	泉平地区、泉平ハイツとの合同防災訓練
みのちGHC	避難・通報訓練、勉強会	センサーライト設置	なし
歩楽里	消火訓練、消火器・避難経路の確認	事業所のセキュリティ対策について検討	八雲日和と合同で実施
八雲日和	避難・消火・通報訓練	対応方法の確認	なし
小春日和	避難・消火訓練	対応方法の確認	なし
こぶし	避難・消火訓練	対応方法の確認	老人福祉センターと合同で実施
信濃学園	避難・通報・消火訓練	防犯訓練（警察署へ依頼）	波田学院・地区との合同防災訓練

松本あさひ学園	避難・通報・消火訓練	居室へのエアコン設置	旭町庁舎、あさひ分校との合同訓練の実施
松本ひよこ	避難・誘導・通報・消火訓練	対応方法の確認	消防署、防災設備業者の立ち合いで訓練実施（1回）
松本ひよこ（GH）	避難・誘導・通報・消火訓練	交番への巡回依頼	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ設置（島内、第1三郷、波田しなの）
ほっと GH 伊北	避難誘導・通報訓練	対応方法の確認	地区防災訓練への参加（5カ所）
ほっと GH 伊南	避難経路の確認等	対応方法の確認	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ設置（みやのまえ、せせらぎ）
伊那ゆいま〜る	避難・通報訓練	対応方法の確認	浸水想定区域内での対応が必要
ほっと W・みのわ	避難・消火訓練	警察官による講習	
辰野町就労・地活C	避難・通報訓練	通報訓練2回	辰野町社協、JAとの合同訓練（1回、ぬくもりの里）
西駒郷	総合防災訓練、避難・通報・消火訓練	非常通報装置、外部監視カメラ、防犯灯の設置	AEDによる心肺蘇生訓練実施
障がい者福祉C	総合防災訓練	対応方法の確認	地元住民自治協議会参加

○防災協定の締結状況

事業所名	協定締結	内容
水内荘	豊野区、泉平ハイツ	災害時の避難応援、合同防災訓練の実施
信濃学園	波田学院、松本市波田20区町会	
ほっと GH 伊北	伊那市	
ほっと W・みのわ	箕輪町	災害時の地域の障がい児者の緊急避難場所
伊那ゆいま〜る	伊那市	
西駒郷	・駒ヶ根市下平区、こころの医療センター 駒ヶ根 ・宮田村大久保区	災害発生時等利用者の生命安全のために必要な応援協力
障がい者福祉C	長野市下駒沢区	災害時の避難応援、合同防災訓練の実施、一時避難場所の提供、プールの水の提供

（3）個人情報保護

「個人情報保護規則」及び「特定個人情報等取扱要綱」に基づき個人情報を適正に取り扱いました。また、前年度にITシステムのネットワーク化を図りましたが、当該システムに対応した情報管理のルールが必要なことから「情報管理指針」の作成について事業団委員会「事務業整備委員会」で検討を行いました。

（4）権利擁護の充実

近年発生してしまった利用者への権利侵害を反省しつつ、障がい者への虐待の根絶を目指して法人、ブロック、事業所ごと研修等を実施しましたが、いくつかの虐待及び疑わしい事案が発生してしまいました。発生してしまった事案については、「利用者虐待の防止と対応マニュアル」に基づき原因の追究と改善策を検討、再発防止に努めました。

○虐待および疑わしい事案

該当事業所	通告者	通告内容	結果	主な対策
水内荘	市担当者	利用者に対する暴力、暴言	認定なし (大きな声で叱責する 事実はあったようだが、暴力、暴言による被害は認められなかった)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での情報共有、周知徹底 ・要因の分析と支援方法の改善 ・定期的に状況確認
みのちGHC	市担当者	ペット用品を代用した排せつ物処理方法の検討が不適切	認定なし (実施しなかったため)	
松本ひよこ	職員	パニック状態の利用者に対する制止方法が不適切	認定なし (疑いはあるが防衛的行動との判断)	
ほっと GH 伊北	市担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・容姿(髪型)に対する声掛けが不適切 ・ホームでの生活が苦痛を与えている ・利用者への暴力等 	認定なし (いづれも調査の結果事実は確認できなかったため)	
	職員 市担当者	利用者に対する暴言	認定なし (虐待案件が生じた際の通報手順に関する改善指導あり)	
西駒郷	職員	行動を制止する際の身体拘束の方法が不適切	虐待認定	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護研修の実施 ・支援技術の向上 ・応援体制の整備(ビジネスフォンの増台) ・スタッフルームの整備
	職員	キスを迫る、体を触る等の行為		<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護研修の実施 ・利用者への学習会の実施 ・送迎車にドライブレコーダーの設置

○虐待の再発防止に向けた主な取り組み

- ・各事業所で虐待防止委員会を開催するとともにセルフチェックを実施しました。
- ・権利擁護に関する研修は、ブロックまたは各事業所単位で実施しました。
- ・言葉遣いや接し方、意思確認・決定方法など人権意識の向上を図るために介護保険施設で2週間の体験研修を実施しました。(係長、主任各1名参加し、リーダー研修で復命研修を実施)
- ・8事業所17人の第三者委員が研修へ参加(県社協主催研修)し、第三者委員会以外にも行事等で事業所へ足を運んでもらえるように依頼した。

(5) 苦情解決の適正運営

今年度各事業所等に寄せられた苦情については以下の通りです。これらの苦情に対しては、事業所の信頼や適正を確保するため、苦情を密室化せず「事業団における福祉サービスに関する苦情解決要綱」に基づき、速やかに対応しました。

○苦情等受付状況

事業	件数	内 容 (申出人)	職員間での共有方法
入所	46	・利用中の怪我、支援方法について (家族) ・食事や余暇について (児童) ・道路への飛び出し、拳動不審等 (住民)	職員会議 世話人会議
通所	13	・利用者の大声、利用者の商品万引き、施設周辺の降雨時の冠水、外線電話への対応が悪い、利用者間での苦情、弁当、パンへの異物混入、お茶を飲んでいたら勝手に漬物を食べられた (住民等) ・帰省時に持ち帰ったうどんの量が多い (家族)	
GH	7	・歩きたばこ、挨拶をしない、職員間でのパワハラ・いじめ、利用者への支援方法、隣家のドアを叩く (住民)	
居宅等	5	・支援や送迎時の対応、情報提供の遅れ (家族)	
スポーツ等	5	握力の弱い者への備品の配慮、宿泊室ベット周りへコンセントの設置、スポーツ施設の配置職員増員要望、受付対応への不満 (利用者)	職員会議 館内掲示
事務局	2	事業所職員に関すること (利用者、住民)	事業所へ連絡

(6) 顧問弁護士の配置

事業の拡大により、利用者、職員とも増加する中で、「利用者が安心・安全な環境」「職員が安全に働ける環境」を確保するとともに、トラブルの未然防止や起きてしまったトラブルに迅速に対応するため、顧問弁護士に相談できる体制を取りました。

(7) 監査体制の充実

ア 内部監査室の設置

業務の適正及び効率性を確保するため、業務執行機関から独立性を有する内部監査室を設置、業務を執行する各事業所の職務執行状況等について監査を実施しました。監査の結果、職員管理関係、利用者の処遇、施設運営関係等について次年度改善を予定しています。

また、法令又は事業団の諸規程に違反する行為の早期発見とその是正並びに通報者の保護を図るため通報制度を定めました。

イ 会計監査人監査

改正社会福祉法により、一定の事業規模を超える社会福祉法人に対し、法人への信頼を確立するとともに、法人の経営力、財務規律の強化を図るため、会計監査人の監査が義務付けられ、当法人でも会計監査人を選任し、監査を実施しました。

(8) 給与規則の見直し

管理監督者の時間外勤務の実態を踏まえ、役職加算について見直しを実施しました。

3 情報提供

今まで以上に社会福祉法人の経営の透明性が求められる時代となり、情報発信の機能が充実していることは大変重要です。そのために、本年度においては主に次の事業に取り組みました。

(1) 情報公開

社会福祉法の改正に伴い経営の透明性を確保するために財務諸表や活動状況、事業計画、役員報酬等の公表をホームページで公開しました。

(2) 事業団広報紙「やまなみ」の発行

	発行月	特集記事	発行部数
第 17 号	8 月	長野県社会福祉事業団第 3 次長期構想	3,500
第 18 号	2 月	平成 30 年度障害福祉サービス等報酬改定案に寄せて	3,500

(3) ホームページの充実

法人のホームページの充実を図り事業運営の透明性を図るとともに、福祉サービスのニーズがある方へ効果的な情報発信ができるように努めました。各事業所がよりスピーディに情報発信を行えるように事業団広報委員会を中心に現行のホームページについて検討を行い、次年度新たなホームページ案の提案を行います。

(4) 各事業所の広報誌等発行計画

各事業所において、発行している広報誌は次の表のとおりです。関係者へ情報発信するとともに各事業所のホームページにもアップし広範囲の方々が閲覧できるようにしました。

○事業所の広報紙等発行状況

事業所	発行開始年度	広報紙名	回数	対 象
長野ブロック事業所	H25	「水内荘グループ便り」	2	保護者、関係機関
みのちGHC	H25	「みのちグループホームセンター通信」	2	保護者
	H22	「ふらっと」余暇情報紙	3	利用者
歩楽里	H17	「ふらりだより」	14	保護者、家族、関係機関
八雲日和	H25	「生活介護だより」	12	保護者
こぶし	H23	「こぶしだより」	3	利用者、保護者、関係機関
信濃学園	S57	「信濃学園通信」	3	家族、地域住民、関係機関
	H19	「なないろ通信」	3	家族
松本あさひ学園	H23	「ふれあい」	3	保護者、連盟加盟施設、全児心加盟施設、関係機関等
松本ひよこ	H21	「ひよこ通信」	12	利用者（毎月）、地域住民・関係機関（年2回）

	H27	「松本ひよこ NEWS」	不定期	関係機関、地域、パン販売先
	H29	「ハイツ通信」	1	家族
ほっと GH 伊北	H14	「ありがとう」	3	利用者、家族、職員
ほっと GH 伊南	H14	「ほっとひといき」	3	利用者、家族、職員
ほっと居宅	H25	「ほっとひといき」	3	利用者、家族、職員
伊那ゆいま〜る	H21	「ゆいま〜るだより」	2	利用者、家族、職員、関係機関
ほっとワークス・みのわ	H23	「ほっとワークス新聞」	2	利用者、家族、関係機関、パン販売先
辰野町就労・地活	H21	「ぬくもりだより」	2	利用者、家族、関係機関、企業
西駒郷	S44	「にしこまごうだより」	3	利用者、家族、職員、関係機関、関係団体
上伊那圏域障がい者総合支援 C	H17	「はあとびあ」	2	職員、事業所、市町村、関係機関
障がい者福祉 C	H10	「まるかじりサンアップル」	4	県内関係団体、市町村社協、県外障がい者スポーツセンター等

4 提供するサービスの質の向上

各事業所特記事項

ア 長野ブロック

事業所名	特記事項				
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
水内荘	施設入所支援	40	39	40	0
	生活介護	60	58	57	△3
	短期入所	6（併設型）			
	事業名	実績		備考	
	相談支援（一般）	実績なし			
	相談支援（特定）	計画 12 件、モニタリング 47 件			
	<p>・施設入所支援は、一時 2 名の欠員がでしたが、施設入所希望者が増加傾向にあるため、すぐに満床となりました。</p> <p>・生活介護は、利用者の高齢化・重度化により、日課の見直しや、入浴介助にスポット的に入る支援員を配置するなど、再編して支援にあたりました。</p> <p>・高齢化対策については、本年度も 2 名の利用者が介護保険施設へスムーズに移行することができました。2 名はいずれも「みのち GH センター」において認知症や身体機能の低下により、GH での生活が困難となり、介護保険施設へ移行するまでの間受け入れたケースとなります。</p> <p>・本年度も AED を使って心肺蘇生を行ったケースが 2 件あり、救命講習を毎月定例で実施しました。また、高齢化によるリスクの増加に伴い、入浴マニュアルを作成しました。</p> <p>・福祉サービス福祉サービス第三者評価を受審しました。全体的に高評価を得ることができました。</p>				

事業所名	特記事項				
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
みのちG H センター	共同生活援助	71	67	61	△10
	<ul style="list-style-type: none"> ・相之島ホームと鷲寺ホームを閉鎖し、次年度は12ホーム、定員65人となります。 ・本年度は利用者の高齢化等の状態を鑑み、延べ29人がホーム間の移動をし、2人が新規入居、7人が退居しました。また、新たに6人が介護保険サービスを利用開始しました。（現在利用中も含めると全体で15人利用） ・利用者のADL調査を基に生活・外出支援を行いました。生活支援員を新たに配置し入浴支援を充実しました。（延べ10人/週） ・「マレットゴルフサークル」を5回実施しました。内1回は、地元のスポーツクラブの出前講座で同クラブ員と一緒に楽しみました。 ・利用者の高齢化・重度化に関しては、これまでどおり関係機関や他事業所と連携し、管理面においては、緊急時看護師が常時対応できる体制を継続するとともに、防災安全対策や危機管理体制の整備を行いました。 ・福祉サービス第三者評価を受審しました。「余暇活動支援や高齢化・重度化への対応」は評価されましたが、人材育成や地域交流」について改善を求められました。 				
歩楽里	事業名	相談件数	相談人数	件数対前年比	人数対前年比
	相談支援（特定）	413件	189	104.3%	107.4%
	相談支援（障害児）	98件	38	105.4%	111.8%
	事業名	定員/日	年度当初登録児	年度末登録児	登録児増減
	放課後等デイサービス	10	31	40	9
	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業は、身近な相談窓口として地域の方の相談に応じました。また、長野市障害者相談支援事業については、次年度も継続して受託することとなりました。 ・居宅介護等事業は、放課後等デイサービス利用者のサービスの移行により、移動支援、タイムケアの休日利用者が増えました。 ・放課後等デイサービス事業は、希望により送迎の充実を図り、町外の学校からの利用者も増えました。「わくわくしよう！」を目標に児童の挑戦心を高められるような体験やイベントを企画しました。また、小春日和への進路が決まった方が1名いました。 ・地域のボランティアサークルの「山楽会」に協力いただいたイベントを実施しました。 ・地域包括支援センター豊野サブセンターと連携し、介護保険制度の理解の向上と介護保険事業所等との関係作りに努めました。 ・防犯強化のため建物のセキュリティ管理について業者への依頼を検討しました。 				

事業所名	特記事項				
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
八雲日和	就労継続支援 B 型	25	21	21	△4
	生活介護	25	25	24	△1
	<p>・就労継続支援 B 型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> * 当事業所機能を最大限活用し製品づくりや販売に力を入れてきました。利用者の高齢化に伴い、4 人の方が介護保険サービスに一部移行しました。 * デリシア豊野店へうどんの納品を開始しました。(週 3 回、合計 60 パックほど) * 平均工賃額 30,206 円 (前年比 + 998 円) <p>・生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> * 高齢者を中心とする「ほのぼのハウス」を利用する方も介護が必要となる場面が増え、施設入所 1 人、介護保険サービスに 2 人の方が移行し、1 人の方が一部移行しました。「ほのぼのハウス」を利用することが難しくなった利用者が増えており、今後の継続は厳しい状況にあります。 * ボランティアでフラダンス教室の講師を招き一緒に踊ったりして楽しみました。(2 回) <p>・養護学校を卒業したばかりの利用者には、生活を送るうえで必要な知識、態度及び習慣を得るための支援に力を入れました。</p> <p>・福祉サービス第三者評価を受審しました。「利用者の自律・自立に向けた支援、事業所間の連携、人材育成、働きやすい職場作り」については評価をいただきました。「ホームページの有効活用、災害時における安全確保」については改善を求められました。</p>				
小春日和	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
	就労移行支援	6	2	1	△5
	就労継続支援 B 型	14	15	17	3
	<p>・就労移行支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> * 一般就労に必要な技術や知識の習得から職場定着に向けた幅広い支援を行い、30 年 4 月からの就職が 1 名内定しました。 * 平均工賃 10,401 円 (前年比 + 886 円) <p>・就労継続支援 B 型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> * 弁当作業や利用者に適した受託作業の拡大に努め、工賃アップに努めました。新たな作業としてイオンのボールプールのボール洗いの作業を導入しました。 * かまどカフェのイベントとしてビアガーデンやジャズ日和を開催し、地域の方にも好評をいただいています。 * 平均工賃 10,222 円 (前年比 - 3,008 円) <p>・福祉サービス第三者評価を受審しました。「地域貢献」について評価をいただき、「就労移行支援事業の定員に対する利用人数」について改善を求められました。(平成 30 年度は定員いっぱいスタートしています)</p>				

事業所名	特記事項				
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
長野市地域活動支援センターこぶし	地域活動支援センター	15	18	19	4
	<p>・述べ10回実施し個人の総合得点を競い合う「こぶし杯争奪戦」と銘打ったレクリエーション・スポーツ大会は、今までにない真剣な取り組みが見られ期待通りの成果が窺えました。</p> <p>・受託作業については、ベースの靴下及びうどん等販売部門は安定した経過で前年度比4%の増収となりましたが、自主作業部門は牛乳パックの販売単価の低下で半減となりました。</p> <p>・平均工賃 6,716 円（前年比+199 円）</p> <p>・四季折々の自然に触れ合える外出やカラオケ等を行い、利用者の心身のリフレッシュを図りました。</p>				

イ 松本ブロック

事業所名	特記事項				
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
信濃学園	施設入所支援（児童）	30	25	28	-
	施設入所支援（成人）		3	1	
	生活介護（成人）		3	1	
	事業名		利用人数	実績	
	短期入所	空床型	31	93 日	
	日中一時支援		27	177 時間	
	<p>・利用者のさらなる生活の質の充実と向上を目指して、社会体験の幅を広げるため、個別での対応及び小規模グループでの対応により、家庭に近い活動を積極的に取り入れました。</p> <p>・有期限有目標の考えのもとに、個別支援計画を策定し、家族をはじめ、関係諸団体との連携強化を図りながら、利用者が地域生活移行できるよう支援してきました。</p> <p>・18歳を超えた利用者(3人)の移行先の確保に取り組み、2名（法人内2人）が移行しました。移行にあたり法人内では、水内荘及び西駒郷を含めた定期的な会議を3回開催しました。1人は移行先が決まりませんでした。</p> <p>・在宅障がい児のための支援 *療育相談事業「こまくさ教室」を年8回実施、公開講座（133人参加）では、医療の立場から障害のある人たちの自立と児童期に取り組みたいことについての講演会を開催</p> <p>・大規模修繕 暖房用ボイラー・給湯用ボイラーの更新工事を行いました。</p> <p>・指定管理者導入施設の第三者評価を受審しました。「与えられた環境の中で十分な努力を感じる」との評価をいただき、「より良い生活環境の整備を目指さなければならない」との改善を求められました。</p>				

事業所名	特記事項					
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
松本あさひ 学園	児童心理治療（入所）	30	24	18	△12	
	児童心理治療（通所）	5	3	2	△3	
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法改正に伴い、児童心理治療施設松本あさひ学園と名称が変更になりました。 ・家庭支援専門相談員の専属配置を行い、36名、551件のアフターフォローを行いました。また、今年度初めて同窓会を開催し17名が参加しました。 ・近隣地域を中心に太鼓演奏の依頼があり積極的に参加しました（8回）。また、地域の河川清掃（女鳥羽川）にも2回参加しています。 ・児童相談所との連携と心理治療の質の向上を図ることを目的とした児童相談所職員との交換研修を実施しました。（1人、期間1年間） ・地域貢献の一環として各種学校や市町村関係会議等へ職員やスーパーバイザーを講師として派遣しました。（33回） ・児童虐待防止啓発活動の一環として「ながの子ども虐待防止オレンジたすきリレー」に率先して協力しました。（3年目） ・夏場の防犯対策や熱中症対策のため居室へエアコンが設置されました。また、防犯用等トランシーバーについても検討を行い、平成30年度当初に6台設置しました。 ・事業所の福祉サービス評価委員会の評価を受けるとともに、指定管理者導入施設の第三者評価や県福祉監査担当による一般指導監査を受審しました。概ね高い評価で、特に独自で行っている福祉サービス評価委員会の取組に対し、平等な利用の確保の視点から高い評価を頂きました。 					
		事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
		生活介護	21	19	20	△1
		就労継続支援B型	18	17	16	△2
		共同生活援助	23	21	21	△2
	事業名	実績		備考		
	相談支援（特定）	計画24件、Eに列挙49件				
	相談支援（一般、障がい児）	実績なし				
松本ひよこ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護 <ul style="list-style-type: none"> * 地域講師による陶芸（月2回）・絵画（月1回）教室を開催しました。 ・就労支援B型事業 <ul style="list-style-type: none"> * パンの販路拡大による収入増のため工賃がアップしました。 * 平均工賃 18,288円（前年比+2,075円） * 就労支援では、2名の方が一般就労に結びつきました。 ・共同生活援助では、夜間帯も行動的になる方へ就寝サポートに力を入れました。それにより睡眠時間が確保され、健康管理にも繋がりました。 ・重度包括支援事業 <ul style="list-style-type: none"> * ホームへのスプリンクラー設置工事に伴い一時的に日中松本ひよこで過ごす機会があり、新たな活動の場を検討するための有意義な期間となりました。 * 「ふれあいタイム（個別活動）」や外出を充実させました。（月平均一人3回） ・10周年記念（次年度）に向けた企画を検討しました。（ひよこ祭で記念事業の実施） 					

事業所名	特記事項			
	事業名	相談件数	相談人数	
大北圏域障害者就業・生活支援センター	障害者就業・生活支援センター	1,206 件	265	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度から事業団が指定事業者を選定され、事業を開始しました。 ・障がい者への支援件数：1, 206 件 (就職：473 件 職場定着：218 件 生活：505 件 就業及び生活：10 件) ・職場実習件数：20 件 ・就職者数：21 名 ・事業主への支援件数：28 事業所 118 件 (雇入れ：8 件 職場定着：93 件 生活：5 件 雇用支援制度：12 件) ・大北圏域障害者総合支援センターと連携して大北障害保健福祉圏域自立支援協議会事務局運営を行いました。 ・事業団としては大北圏域で初めての事業運営であったため、圏域内の行政機関や福祉サービス事業所、医療機関、教育機関等との関係作りに努めました。 			

ウ 上伊那北部ブロック

事業所名	特記事項				
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
ほっと G H 伊北	共同生活援助	86	81	80	△6
	事業名	実績		備考	
	相談支援（特定）	計画なし、モニタリング 11 件			
	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助 <ul style="list-style-type: none"> * 65 歳以上の利用者が 19 名おり、うち 1 名が介護保険サービス（福祉機器・装具の貸与）を利用しています。 * 日中をのんびり過ごせる居場所作りの検討を建替え、改修計画と合わせて検討しました。 * ライフデザインノート作成のための個別利用者の事前調査を行いました。 * 利用者動向については、退居者 2 人(病院、ホームで死去)、新規入居者は 1 人でした。疾病の進行による入院や退院直後の体調悪化での死去でした。 ・本人部会「ともだちの会」の充実 <ul style="list-style-type: none"> * 旅行（9 回、延べ 142 人参加）の企画や忘年会（1 回、50 人）を開催しました。 ・余暇活動支援として、ダンスクラブ（月 2 回、毎回 30 人以上）を行い、積極的に地域イベント等へ参加しました。 ・平成 30 年度から 3 事業所（ほっと GH 伊北、GH 伊南、居宅）は統合再編成され「ほっと上伊那」として運営することになりました。 ・相談支援事業は、本年度を持って事業廃止となりました。 ・前年度のインフルエンザ流行に伴い、西駒郷と予防対策指針の共有化を行い拡大防止に努めました。 				

事業所名	特記事項					
ほっと G H 伊南	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
	共同生活援助	47	44	45	△2	
	<p>・65 歳以上の利用者が 8 名おり、内 2 名が介護保険サービス（短期入所、デイケア、福祉機器・装具貸与）を利用しています。</p> <p>・利用者動向については、新規入居者は 1 名でした。</p> <p>・みやのまえ、せせらぎの 2 ホームにスプリンクラーを設置しました。</p> <p>・平成 30 年度から 3 事業所は統合再編成され、「ほっと伊南」は事業所廃止となりました。</p>					
ほっと居宅	事業名	区分	人数	実績	前年度実績	対前年比
	居宅介護	身体介護	62	5.0 時間	10.5 時間	47.6%
		家事援助		180.5 時間	114.0 時間	158.3%
		通院介助		2,474.0 時間	1,557.5 時間	158.8%
	行動援護		16	843.5 時間	941.0 時間	89.6%
	地域生活支援	移動支援	111	7,203.0 時間	7,663.5 時間	94.0%
	<p>○事業実績</p> <p>・通院介助は、高齢化や冬期の感染症対応により通院回数や時間が増加しました。</p> <p>・移動支援は、登録者増加したが時間数は減少しました。（ヘルパーの減少、利用者の高齢化による外出回数の減少）</p> <p>・全体的には、昨年度より時間数も増え、利用者個々のニーズに細かく対応しました。</p> <p>○余暇活動支援</p> <p>・ダンスクラブ活動、地域のお祭りや大会、イベント、コンサートや観劇、プール、フラワーアレンジメント教室、スポーツ教室等 ・休日利用でのお花見、映画等</p>					
伊那ゆいま ～る	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
	生活介護	15	14	14	△1	
	就労継続支援 B 型	20	25	27	7	
	事業名	実績		備考		
	相談支援（特定）	計画 25 件、Eメール 2 件				
	<p>・生活介護は、活動メニュー（創作・生産活動、音楽、軽スポーツ、入浴等）の充実に努め、安定した活動が展開されています。</p> <p>・就労継続支援 B 型では就労意欲の喚起に努め、平均工賃前年度比約 2 割向上させることができました。</p> <p>＊平均工賃 13,867 円（前年比+2,032 円）</p> <p>・相談支援では、利用者の介護保険移行に伴い、介護保険のケアマネージャーに 4 ケース計画相談支援を引き継ぎました。</p> <p>・地元伊那市水神町の方々との交流も定着し、毎月手作りのパンを届けていただいたり、リサイクル回収倉庫に気兼ねなく回収品を置いていってくれるような自然な関係が築かれています。</p> <p>・道路工事に伴う事業所移転のため伊那市内の公有地を候補地として県と交渉に入りました。</p> <p>・福祉サービス第三者評価を受審しました。「施設の長期構想の周知、利用者個々に合わせたゆったりしたメニューの提供」について評価をいただきました。「法人の理念・基本方針、施設の運営方針の周知不足、多機能型のメリットが活かされていない」について改善を求められました。</p>					

事業所名	特記事項				
ほっと W・みのわ	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
	就労継続支援 B 型	20	25	24	4
	事業名	実績		備考	
	相談支援（特定）	計画 28 件、Eメール 2 件			
	<p>・就労継続支援 B 型</p> <p>＊前年度に引き続き「作業自由見学週間」を実施し、日中活動の様子や、新規事業所についての説明会の開催や面談を行い、理解を深められるように努めました。（7 家族 9 人参加）</p> <p>＊平均工賃 26,312 円（前年比+881 円）</p> <p>・感謝祭開催や地域イベント参加、うるおいの時間等ではエコキャップ回収協力や調理実習を行い、地域に貢献活動や生活介護の活動に繋がるきっかけづくりを模索しました。</p> <p>・感謝祭（現事業所で最後のイベント）を開催し、格安でのパンセットや牛タン・特産モロコシ焼きなどの販売を行いました。交流を続けてきた地域の方々に多数参加いただき、大変盛況でした。</p> <p>・新規事業については、社会福祉施設等整備事業補助金の交付が得られ建物建築工事を行い、年度末に完成しました。名称は、「ほっとジョイブ」とし、新規事業所での事業開始に向けて利用者の確保についても検討し、各関係機関との連携を深めて情報交換を図りました。</p>				
辰野町障がい者就労支援センター	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
	就労継続支援 B 型	20	23	22	2
	事業名	実績		備考	
	相談支援（特定）	計画 22 件、Eメール 14 件			
	<p>・就労継続支援 B 型</p> <p>＊受託作業では、企業から安定的な作業量の確保が出来たため収入の確保に繋がりました。</p> <p>＊自主作業の生麺製造・販売では、前年度に引き続きギフトセットの商品開発を行い販売しました。特にギフトセットは春・夏・冬に贈答用の企画を行い徐々に販売先の確保が増えつつあります。また、移動販売車「ぬくもり号」を少人数からの出張販売も受け入れながら地域に根ざした販売を行いました。</p> <p>＊平均工賃 30,998 円（前年比+3,681 円）</p> <p>・手狭な環境なため、辰野町と移転先について協議をしまいましたが、次年度に向けて引き続き検討していきます。</p>				
辰野町地域活動支援センター	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
	地域活動支援センター	20	17	16	△4
	<p>・創作活動の充実を図り、第 19 回長野県障がい者文化芸術祭、創造の王国展（辰野美術館開催）、南信地域障がい者施設合同造形作品展・ぼかぼかアート展（サンアップル主催）に出品しました。また、町民会館、世代間交流センター、地域郵便局の特設コーナーに作品の展示をさせていただき地域の方に活動を知ってもらう機会を設けました。</p> <p>・平均工賃 1,784 円（前年比-470 円）</p> <p>・野外での活動としてりんごオーナーは 5 年目となり、収穫をはじめ、調理実習、創作活動等に使用し有意義な活動ができました。</p> <p>・愛称名を公募し「つむぎ」として運営を開始しました。辰野ロータリークラブより障害福祉のために、看板の寄付をいただきました。</p>				

エ 上伊那南部ブロック

事業所名		特記事項			
事業名		定員	年度当初	年度末	定員との差異
駒ヶ根	施設入所支援	95	90	88	△7
	生活介護	140	120	121	△19
	生活訓練	休止中			
	就労継続支援 A 型	20	11	12	△8
宮田	施設入所	30	13	13	△17
	生活介護	20	16	16	△4
	就労移行支援	6	3	1	△5
	就労継続支援 B 型	54	53	52	△2
事業名		実績		備考	
相談支援（一般）		地域定着 1 件			
相談支援（特定）		計画 110 件、モタリング 121 件			
西駒郷	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.3/31 自活訓練棟「アカシアホーム」閉鎖、それに伴いH29.4/1～「すみれホーム」の定員数を4室から5室へ変更 ・常食が困難な方へのゲル化剤を使用した嚥下食の提供（10月～対象利用者10名） ・言語聴覚士による嚥下機能の評価、食事形態・介助方法等アドバイス（12月～月2回） ・外部講師による職員の支援力アップのための現場でのアドバイス（さくら4回訪問） ・自主作業や受託作業による収益を「本人支給金」として還元開始（3月～駒ヶ根日中） ・就労継続 A 型「わーく西駒」平均工賃 80,352 円（前年比-7,626 円） ・就労継続 B 型・就労移行支援「わーく宮田」同上 19,452 円（前年比+391 円） ・主な施設改修の状況：窓サッシ改修工事（まつば 県指定工事）、浴室給湯機設置工事・居室改修2か所（ひまわり）、各室エアコン更新（駒ヶ根日中） ・リスクマネジメントへの取り組み 職員間の応援体制強化のため各部署のビジネスフォン台数増加。入浴事故の再発防止のため、ひまわり浴室改修・緊急時通報装置の設置、各支援課の入浴マニュアルの整備しました ・防災、防犯への取り組み 各入所支援課に警察への非常通報装置と建物周辺に防犯カメラを設置しました。（県対応）敷地内と周囲の施設外道路に外部監視カメラ（5台）を設置しました。 ・駒ヶ根市地域見守りネットワークに参加し、協定書を締結しました。（5月～） 				

事業所名	特記事項				
	事業名	相談件数	相談人数	件数対前年比	人数対前年比
上伊那圏域 障がい者総 合支援セン ター	相談支援	11,138 件	637	98.3%	103.4%
	就業・生活支援センター	3,591 件	478	75.5%	107.7%
	<p>・上伊那圏域地域自立支援協議会</p> <p>① 専門部会の再編成 7 部会あった専門部会を 6 部会としました。具体的には、生活支援の課題は全部会の共通テーマとし、人材育成に特化した会議を創設するため、「生活支援・人材育成部会」を廃止し、「人材育成検討委員会」を新たに立ち上げる方針を圏域で確認しました。</p> <p>② 圏域福祉フォーラムの開催 当事者や家族が安心して暮らせる地域づくりのために、様々な情報発信と啓発を目的としたフォーラムを開催しました。今年度は、中途障がいを負いながらパラスポーツという競技に出会い、新たな活躍の場を得たアスリートを講師として迎えました。高校生等の若年層中心に参加を呼びかけましたが、期待通りの参加は得られず広報手段に課題を残しました。</p> <p>・基幹相談支援センターの機能強化</p> <p>地域生活支援拠点の整備事業等の検討過程において、圏域の基幹センターとして中心的役割を果たすことが出来ました。このことは、単なる圏域の体制整備検討にとどまらず、相談支援の体制強化に繋がるものと考えます。</p> <p>・療育支援事業の充実</p> <p>圏域福祉事業所や関係機関のニーズに応じて療育講師（専門職）の派遣を行っています。新たに伊那養護学校に対する P T の派遣を開始したことで、教職員から重心児童への身体介助に役立っているとの評価を得ています。</p> <p>・職員研修、自己研鑽</p> <p>毎月第三水曜日の午前中に、所内研修（きらりあ研修）を開催しています。職員 2 名で担当し、全員が研修講師となるように割り振っています。</p> <p>・担当ケースの抱え込み防止、バーンアウト予防</p> <p>始業時のミーティングの中で、困難ケースの対応方法や新規ケースの支援方針について組織全体が情報を共有する機会を設けています。</p>				

オ 障がい者福祉センターブロック

	事業名	本年度実績	前年度実績	対前年比	備考
障がい者福祉センター	サンアップル	109,206	109,077	100.1%	年間利用者数 H29 138,168 H28 134,925
	長野	上記に含む	同 左		
	駒ヶ根	10,104	10,836	93.2%	
	松本	1,574	1,701	92.5%	
	佐久	1,032	987	104.6%	
	館外事業	16,252	12,324	131.9%	
	<p>・納涼祭（7月22日）のオープニングにおいて、開設20周年の記念式典として、ボランティアの永年表彰やくす玉割りを行うとともに、センターの20年間の歩みを振り返る、記念写真のスライド上映を実施しました。また展示コーナーにおいて、これまで発行した広報誌「まるかじりサンアップル」（95刊：20年間分）の展示を行いました。</p> <p>・障がい者の芸術作品展開催事業「ザワメキアート展2017」を県内2カ所（安曇野市・佐久市）、銀座NAGANO（東京）で開催し、約3,400人が来場しました。</p> <p>・当初に計画した大会・記録会・文化教室・スポーツ教室・体験会・各種イベント等は、予定どおり実施することができ、参加者からは従前同様、好評を博しました。</p> <p>・新規レクリエーション事業として、サンアップルにおいて「第1回いきいき運動フェスティバル」（脳トレ、ロコモ度テスト、食習慣、身体組成チェック等）を開催しました。</p> <p>・各サンスポート（駒ヶ根・松本・佐久）においては、関係市町村・学校をはじめ、地域の団体との連携を深め、障がい者のニーズの把握や新たな事業展開（岡谷市において「夏季短期水泳教室」の開催）に努めました。</p> <p>・年間利用者数は昨年度に比して約3,000人の増となりましたが、これは主として「ザワメキアート展」の開催に伴うものです。</p> <p>・指定修繕にて、自動火災報知・防排煙制御設備修繕(3,672千円)、照明制御設備修繕(2,380千円)を実施したほか、プール防滑処置工事(1,890千円)等を実施しました。</p> <p>・上記修繕に加えて、施設の経年劣化に伴う各種修繕を実施した結果、修繕費が約2,000千円(指定修繕を除く)増加しました。</p> <p>・年間を通じて利用者満足度調査を実施（サンスポート駒ヶ根においては、年2回）するとともに、「事業検討・サービス評価委員会」を年2回（同、年1回）開催して、サービスの向上に努めました。</p>				

資料-1

各事業所研修実施状況

○各事業所研修実施状況

(単位：回、人)

事業所		事業所内研修			
		回数	実人数	延人数	内容
長野	水内荘	10	119	119	精神疾患・感染症、虐待防止、体調自己管理
	みのちGHC	0	0	0	
	歩楽里	8	13	21	長野ブロック研修
	八雲日和	16	32	155	長野ブロック研修
	小春日和	13	16	47	長野ブロック研修
	こぶし	7	2	14	長野ブロック研修
松本	信濃学園	11	70	134	自閉症療育支援事業、職員研修、勉強会
	松本あさひ学園	17	56	394	CAP研修、包括的暴力防止プログラム等
	松本ひよこ	9	47	115	虐待防止、事業所内交流研修、強度行動障害
上伊那北部	ほっとGH伊北	3	4	3	合同研修
	ほっとGH伊南・居宅	3	4	3	
	伊那ゆいま～る	2	12	24	虐待防止、感染症対策
	ほっとワーク・みのわ	4	51	51	工賃アップ、虐待防止、防犯研修
	辰野町就労・地活C	1	9	9	虐待防止
上伊那南部	西駒郷	25	623	623	人権、メンタルヘルスケア、将来構想口腔ケア、交通安全、救命講習、新年研修等
	上伊那圏域障がい者総合支援C	7	17	73	差別禁止法、手話、発達障がい、地域移行・定着研修
サン	障がい者福祉C	4	78	78	所内研修、スポーツ課研修、総務課研修
事業所		視察等事業所外研修			
		回数	実人数	延人数	内容
長野	水内荘	39	55	55	県知障協部会、虐待防止、サビ管、相談支援、強度行動障害研修等
	みのちGHC	9	22	24	サビ管、相談支援研修、県知障協部会、長野市障害ふくしネット
	歩楽里	19	9	29	虐待防止、サビ管、相談支援、児童発達、強度行動障害、発達障がい家族支援研修等
	八雲日和	7	6	7	虐待防止、セルフ大会、全国知障協大会等
	小春日和	6	7	7	虐待防止、サビ管、保健所研修等
	こぶし	5	4	5	虐待防止、県知障協スタッフ部会等
松本	信濃学園	2	4	4	幼児入所促進のための施設視察
	松本あさひ学園	32	43	43	全児心研修、こどもの虹研修、児相交換研修等
	松本ひよこ	9	33	35	権利擁護、サビ管、相談支援、児童発達研修、

					チームワーク向上
上伊那北部	ほっとGH伊北	10	11	31	虐待防止、強度行動障害、サビ管、相談支援等
	ほっとGH伊南・居宅				
	伊那ゆいま〜る	5	5	5	強度行動障害、苦情解決、サビ管等
	ほっとワーク・みのわ	3	3	3	工賃アップ、相談支援、感染症慢性疾患研修
	辰野町就労・地活C	14	15	15	感染症・食中毒、てんかん、相談支援研修等
上伊那南部	西駒郷	119	233	245	虐待防止、県知障協自閉症・精神科領域セミナー、サビ管、相談支援、他施設視察研修等
	上伊那圏域障がい者総合支援C	24	31	52	アルコール問題、精神障がい者支援、引きこもり支援、相談支援研修等
サン	障がい者福祉C	15	32	32	上級救命研修、ムブメント研修、県体育センター研修、体育施設管理者研修、会計入門研修等

○主な世話人研修実施状況

(単位：回)

事業所	項目	世話人研修会	世話人定例会	ホーム世話人会
みのちGH C	回数	8	4	8 4
	内容	虐待防止、合理的配慮、 歯科講習会、応急手当、 事業所見学等	年間予定、業務・医務・防 災等マニュアルの確認	保健訪問、健康管理、生 活支援について
松本ひよこ	回数	1	0	1 2
	内容	松本圏域 GH 世話人研修 会		事例及び各ホームの課題検 討、支援方法等
ほっとGH伊北	回数	2	2	12 (各ホーム毎月)
	内容	虐待防止	同左	利用者支援、小遣い確認
ほっとGH伊南	回数	2	2	12 (各ホーム毎月)
	内容	虐待防止	同左	利用者支援、小遣い確認

資料-2

各事業所の状況

1 生活の場の充実

(1) 成人入所施設利用者の支援

○入所定員と現員 平成 30.3.31 現在

(単位：人)

事業所		定員	現員	増減
水内荘		4 0	4 0 (3 9)	1
西駒郷	駒ヶ根支援事業部	9 5	8 8 (9 0)	△ 2
	宮田支援事業部	3 0	1 3 (1 3)	0
	合 計	1 2 5	1 0 1 (1 0 3)	△ 2
合 計		1 6 5	1 4 1 (1 4 2)	△ 1

注：() は、平成 29 年 3 月 3 1 日の現員

○成人施設年齢構成

(単位：人、%)

区 分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	備 考
水内荘	人数	0	4	3	13	4	10	6	40	平均 53.3 最年少 20歳 最年長 82歳
	構成比	0.0	10.0	7.5	32.5	10.0	25.0	15.0	100	
西駒郷	人数	0	3	6	51	29	11	1	101	平均 48.5 最年少 23 最年長 75
	構成比	0.0	3.0	5.9	50.5	28.7	10.9	1.0	100	
合計	人数	0	7	9	64	33	21	7	141	平均 50.9 最年少 20 最年長 82
	構成比	0.0	5.0	6.4	45.3	23.4	14.9	5.0	100	

○成人施設障害支援区分

(単位：人、%)

区 分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均
水内荘	人数	0	0	1	15	20	4	40	4.2
	構成比	0.0	0.0	2.5	37.5	50.0	10.0	100	
西駒郷	人数	0	0	0	11	34	56	101	5.4
	構成比	0.0	0.0	0.0	10.9	33.7	55.4	100	
合計	人数	0	0	1	26	54	60	141	5.2
	構成比	0.0	0.0	0.7	18.4	38.3	42.6	100	

(2) 児童福祉施設利用者の支援

○定員と現員

(単位：人)

事業所名	定 員		現 員	
	入 所	通 所	入 所	通 所
信濃学園	30		29	
松本あさひ学園	30	5	18	2
合計	60	5	47	2

○信濃学園年齢構成

(単位：人)

年齢区分	男	女	合計	措置	契約	年齢区分	男	女	合計	措置	契約
6歳未満	0	0	0	0	0	18~20歳未満	0	0	0	0	0
6~9歳未満	5	1	6	4	2	20歳以上	0	1	1	0	1
9~12歳未満	3	2	5	1	4	18歳以上小計	0	1	1	0	1
12~15歳未満	6	3	9	7	2	利用者合計	20	9	29	16	13
15~18歳未満	6	2	8	4	4	平均年齢	12.6	14.1	13.1		
18歳未満小計	20	8	28	16	12	最高年齢	17	20	20		

○松本あさひ学園在園期間

(単位：人)

期 間	3か月 未 満	3か月～ 6か月未満	6か月～ 1年未満	1年～ 1年半未満	1年半～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年 以 上	計
人 数	3	1	5	3	3 (1)	4 (1)	1	20 (2)

○松本あさひ学園入退所状況

(単位：人)

区 分		平成 28 年 3 月末 在籍者数	平成 28 年度中の入退所者		平成 29 年 3 月末 在籍者数
			新規入所	退 所	
小 学 生	男	15 (2)	4	4 (1)	11 (1)
	女	6	3	5	4
	小計	21 (2)	7	9	15 (1)
中 学 生	男	2	2	4 (1)	5 (1)
	女	3	0	3	0
	小計	5 (1)	2	7	5 (1)
合 計		26 (3)	9	16 (1)	20 (2)

* () は通所

(3) 入所施設の居室の状況

(単位：室)

事業所	水内荘	信濃学園	松本 あさひ学園	西駒郷			
				入所施設		自活訓 練棟	合 計
				駒ヶ根支援 事業部	宮田支援事 業部		
1人部屋	18	20	20	93	14	5	170
2人部屋	14	5	5	0	0	0	24
合 計	32	25	25	93	14	5	194

(4) 共同生活援助の状況

○グループホーム及び利用者数

	GH数			利用者数					
	28年度	29年度	増減	28年度	29年度	増減			
みのちGHC	14棟	13棟	△1	68人 (定員 71)	61人 (定員 67)	△7			
松本ひよこ	4棟	4棟	0	21人 (定員 23)	21人 (定員 23)	0			
ほっとGH伊北	25	16棟	25	16棟	0	81人 (定員 86)	125	80人 (定員 86)	△1
ほっとGH伊南		9棟		9棟	0	44人 (定員 47)		45人 (定員 47)	1
計	43棟	43棟	0	214人 (定員 227)	207人 (定員 223)	△7			

○GH年齢構成

(単位：人、%)

区 分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	合 計	備 考
みのちGHセンター		0	1	2	4	8	14	32	61	平均 66.1歳 最年少 28歳 最年長 82歳
構 成 比		0.0	1.6	3.3	6.5	13.1	23.0	52.5	100	
松本ひよこ		0	3	3	11	1	1	2	21	平均 44.4 最年少 21 最年長 78
構 成 比		0.0	14.3	14.3	52.3	4.8	4.8	9.5	100	
ほっとGH伊北		0	6	8	20	13	27	6	80	平均 52.3 最年少 20 最年長 79
構 成 比		0.0	7.5	10.0	25.0	16.3	33.7	7.5	100	
ほっとGH伊南		0	1	1	19	9	9	6	45	平均 53.8 最年少 25 最年長 75
構 成 比		0.0	2.2	2.2	42.3	20.0	20.0	13.3	100	
29 年度	合 計	0	11	14	54	31	51	46	207	最年少 20 最年長 82
	構 成 比	0.0	5.3	6.8	26.1	15.0	24.6	22.2	100	
28 年度	合 計	0	13	15	56	37	51	41	213	
	構 成 比	0.0	6.1	7.0	26.4	17.4	23.9	19.2	100	

(平成30年3月31日現在)

○GH障害支援区分

(単位：人、%)

区 分	障害支援区分								合 計	平均
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定			
みのちGHセンター	1	12	37	9	2	0	0	0	61	3.0
構 成 比	1.6	19.7	60.7	14.8	3.2	0.0	0.0	0.0	100	
松本ひよこ	0	1	3	5	4	8	0	0	21	4.7
構 成 比	0.0	4.8	14.3	23.8	19.0	38.1	0.0	0.0	0.0	
ほっとGH伊北	0	13	19	20	17	11	0	0	80	3.9
構 成 比	0.0	16.3	23.7	25.0	21.2	13.8	0.0	0.0	100	
ほっとGH伊南	0	1	4	12	16	12	0	0	45	4.8
構 成 比	0.0	2.0	9.0	27.0	36.0	27.0	0.0	0.0	100	
29年 度	合 計	1	27	63	46	39	31	0	207	3.9
	構 成 比	0.5	13.0	30.5	22.2	18.8	15.0	0.0	100	
28年 度	合 計	2	30	65	52	33	31	0	213	3.8
	構 成 比	0.9	14.1	30.5	24.4	15.5	14.6	0.0	100	

(平成30年3月31日現在)

○年金取得

(単位：人、%)

区 分		年 金			
		1 級	2 級	未受給等	合 計
みのちGHセンター		28	32	1 (老齢厚生)	61
構 成 比		45.9	52.5	1.6	100
松本ひよこ		14	7	0	21
構 成 比		66.7	33.3	0.0	100
ほっとGH伊北		30	49	1	80
構 成 比		37.5	61.2	1.3	100
ほっとGH伊南		25	20	0	45
構 成 比		55.6	44.4	0.0	100
29 年度	合 計	97	108	2	207
	構 成 比	46.9	52.1	1.0	100
28 年度	合 計	99	112	2	213
	構 成 比	46.5	52.6	0.9	100

(平成30年3月31日現在)

○工賃の取得 (月額)

(単位：人、%)

区 分	1万円未満	1万円～	2万円～	3万円～	4万円～	5万円～	6万円～	7万円～	合 計
みのちGHセンター	43	6	3	4	2	1	1	1	61
構 成 比	70.6	9.8	4.9	6.6	3.3	1.6	1.6	1.6	100
松本ひよこ	20	0	0	0	0	0	0	1	21
構 成 比	95.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	100
ほっとGH伊北	22	11	20	5	5	1	1	6	71
構 成 比	31.0	15.5	28.2	7.0	7.0	1.4	1.4	8.5	100
ほっとGH伊南	31	6	1	1	0	2	0	4	45
構 成 比	68.9	13.3	2.2	2.2	0.0	4.5	0.0	8.9	100
29 年 度	合 計	116	23	24	10	7	4	2	198
	構 成 比	58.6	11.6	12.1	5.1	3.5	2.0	1.0	6.1
28 年 度	合 計	151	18	10	7	5	2	7	213
	構 成 比	70.9	8.5	4.7	3.3	2.3	0.9	3.3	6.1

(平成30年3月31日現在)

○日中活動の状況

(単位：人、%)

区 分	一般就 労	就労支援事業所		共同作業所・地活		通所更生・生活介護		利用 なし	合 計
		事業団	その他	事業団	その他	事業団	その他		
みのちGHセンター	3	17	0	6	0	30	5	0	61
構 成 比	4.9	27.9		9.8		57.4		0.0	100
松本ひよこ	1	1	1	0	0	17	1	0	21

構成比	4.8	9.5		0.0		85.7		0.0	100	
ほっとG H伊北	10	39	5	2	1	14	7	2	80	
構成比	12.5	55.0		3.8		26.2		2.5	100	
ほっとG H伊南	4	9	1	0	0	30	1	0	45	
構成比	8.9	22.2		0.0		68.9		0.0	100	
29年度	合計	18	66	7	8	1	91	14	2	207
	構成比	8.7	31.8	3.4	3.9	0.5	43.9	6.8	1.0	100
28年度	合計	18	58	7	11	1	109	9	0	213
	構成比	8.5	27.2	3.3	5.2	0.5	51.1	4.2	0.0	100

(平成30年3月31日現在)

○ホーム利用者及び在宅利用者の状況

(単位:人)

区分	利用者数		団ホーム利用者数		在宅利用者数		在宅利用者増減	
	H29	H28	H29	H28	H29	H28		
入所事業所	141	193						
日中活動事業所	介護系	254	257	96	99	29	28	+1
	就労系	194	196	72	75	105	104	+1
	地活センター	41	35	19	12	20	18	+2
	児童	39	39	0	0	39	39	0
	小計	528	527	187	186	193	189	+4
共同生活介護	207	213						

(平成30年3月31日現在)

2 日中活動の場の充実

○通所事業所の事業実施概要

(単位:人)

地域	事業所	事業名	開始年月日	定員(人)	現員(人)			
					合計	入所	G H	在宅等
長野	水内荘	生活介護	S37.9.25	60	57	38	19	0
	歩楽里	放デイ	H27.8.1	10	39	0	0	39
	八雲日和	生活介護	H19.4.1	25	23	3	11	9
		就労B型	H19.4.1	25	21	1	12	8
	小春日和	就労移行	H24.4.1	6	1	0	0	1
		就労B型	H26.4.1	14	17	1	4	12
	こぶし	地活Ⅲ型	H19.1.1	15	19	2	9	8
松本	松本ひよこ	生活介護	H20.11.1	21	20	0	18	2
		就労B型	H23.11.1	18	15	0	5	10
	信濃学園	生活介護	H25.4.1	—	(1)	(1)	—	—
	松本あさひ学園	心理治療	H23.4.1	5	2	0	0	2
	辰野就労C	就労B型	H21.4.1	20	22	0	2	20
	辰野地活C	地活I型	H19.4.1	20	22	0	10	12

ほっとW・みのわ	就労B型	H17.10.1	20	24	0	15	9
伊那ゆいま〜る	生活介護	H21.4.1	15	14	0	7	7
	就労B型	H21.4.1	20	27	0	3	24
西駒郷 駒ヶ根日中支援課	生活介護	H23.4.1	140	121	81	30	10
	自立訓練 (生活訓練)	H23.4.1	10	休止			
西駒郷わーく西駒	就労A型	H23.4.1	20	12	1	2	9
西駒郷えこ宮田	生活介護	H25.4.1	20	19	7	11	1
西駒郷 わーく宮田	就労移行	H27.4.1	6	1	0	0	1
	就労B型	H23.4.1	54	54	14	29	11
合 計			544	530	148	187	195

* GHの人数とは、事業団のホーム利用者

○通所事業所の事業内容

地域	事業所	事業名	支援内容
長野	水内荘	生活介護	自主作業：野菜栽培 受託作業：きのこキャップ清掃、組み立て 「うるおい班」：個別作業、軽スポーツ、レク活動、リハビリ訓練、音楽療法等 「ものづくり班」：野菜づくり、環境美化、受託作業、ウォーキング、カラダ体操等 「全体活動」：アロケス
	歩楽里	放課後等 デイサービス	障がい児の放課後や休日・長期休暇中の支援 曜日ごとの活動プログラム（エコ活動、おやつ作り、工作、畑作業等）
	八雲日和	生活介護	自主作業：リサイクル活動 受託作業：布裁断、果物ネット作業 理学療法士による機能訓練、創作活動、ストレッチ教室参加や外出等
		就労継続 支援B型	自主作業：うどん・おやき・ドライフーズの製造販売 受託作業：温泉施設清掃作業、靴下反し作業、援農、雪かき
	小春日和	就労移行 支援	就労支援：作業体験、企業体験（本年度2人就職） マナー支援：あいさつ、身支度、ルール等・企業見学
		就労継続 支援B型	自主作業：カフェ・弁当・スイーツ・ドリンク製造販売 受託作業：箱折作業、施設清掃作業等
	こぶし	地活Ⅲ型	自主作業：牛乳パックリサイクル 受託作業：靴下加工、食品（うどん・おやき）委託販売、清掃作業 レクリエーション活動、余暇活動、外出等
松本	松本ひよこ	生活介護	自主作業：陶芸、コーヒー豆焙煎、喫茶片付け、資源回収 受託作業：ノバキャップ、資源物回収 日常生活支援：食事、入浴、排泄介助、絵画・陶芸・水泳教室、調理実習、外出（買い物）支援

		就労継続 支援 B 型	自主作業：パン販売・販売 受託作業：ウエス加工、他施設清掃（松本合庁・老人ホーム）、クリーニング検品・たたみ作業（丸山クリーニング）、資源物回収
	信濃学園	生活介護	絵カード（1日の日課を視覚的に分かるように）使用、ペットボトル回収（ラベル剥がし、洗浄、他事業所への運搬）、新聞破き、散歩、買い物
	松本あさひ学園	情緒短期 治療	女鳥羽中学校・岡田小学校各あさひ分校への通学、心理面接、診断治療、家族療法のプログラムにより支援
上 伊 那	ほっと W・みのわ	就労継続 支援 B 型	自主作業：パン製造販売、手工芸品、しめ縄飾り、農作物、クラッカー 受託作業：味噌カップラベル貼り、箸袋入れ、自動車部品組み立て
	伊那ゆいま〜る	生活介護	身体介護支援、機能訓練（リラクゼーション運動、創作ダンス）、生産活動（資源回収）、創作活動（音楽、運動、創作活動）、入浴
		就労継続 支援 B 型	自主作業：木工、紬縫製 受託作業：部品検査、食品袋詰め、施設外での農作業
	辰野町就労 C	就労継続 支援 B 型	自主作業：麺製造販売、移動販売車、ウエス 受託作業：ダンボール仕切り組立て、塗装部品付け、清掃（2箇所）
	辰野町地活 C	地活 I 型	自主作業…ぼかし、ウエス 受託作業…わら加工、パンの委託販売
	西駒郷 駒ヶ根日中支援 課	生活介護	自主作業：エコバック、保冷剤、手芸品、野菜加工 受託作業：導線切り、ダンボール組立て、アルミ缶つぶし、きのこキャップ清掃
		自立訓練 (生活訓練)	
	西駒郷 わーく西駒	就労継続 支援 A 型	自主作業：豆腐・どら焼き・焼き菓子の製造販売、西駒郷会館業務 受託作業：、ひまわり支援課ハウスキーパー補助業務、ゴマ瓶詰め
	西駒郷 えご宮田	生活介護	自主作業：野菜栽培・販売・加工、清掃活動 受託作業：箱折り、シール貼り、かわら苺洗浄・乾燥
	西駒郷 わーく宮田	就労移行 支援	就労支援：企業見学・実習、就職説明会 マナー支援：あいさつ、身だしなみ、姿勢、面接練習
就労継続 支援 B 型		自主作業：紬製品、薪、プランター、椎茸栽培、リサイクル作業 受託作業：クリーニング、部品組付け、薪、作業着部分品加工、看護大 清掃	

○就労支援事業所の工賃

事業所	売上高 (千円)	労務費 (千円)	月平均工賃 (円)	前年比 (円)	月平均工賃最高額 等 (円)
八雲日和 (就労 B 型)	16,439	7,521	30,206	998	最高額 40,350 最低額 60
小春日和 (就労移行)	216	216	10,401	886	最高額 14,500 最低額 3,590
小春日和 (就労 B 型)	9,871	2,126	10,222	△3,008	最高額 27,750 最低額 200

こぶし (地活)	1,128	1,128	6,716	199	最高額 14,630 最低額 330
松本ひよこ (就労B型)	6,984	3,072	18,288	2,075	最高額 63,953 最低額 3,018
伊那ゆいま〜る (就労B型)	4,021	3,328	13,867	2,032	最高額 24,072 最低額 2,024
ほっとW・みのわ (就労B型)	17,291	7,656	26,312	881	最高額 44,950 最低額 810
辰野町就労C (就労B型)	14,291	7,923	30,998	3,681	最高額 87,600 最低額 1,400
辰野町地活動C (地活)	372	260	1,784	△470	最高額 8,325 最低額 180
西駒郷わ〜く西駒 (就労A型)	25,677	10,528	80,352	△7,626	最高額 110,860 最低額 54,978
西駒郷わ〜く宮田 (就労移行・就労B型)	18,807	11,411	19,452	391	最高額 34,200 最低額 10,200

3 利用者の健康管理

○看護師配置状況

(単位：人)

事業所名	人数	内容
水内荘	2人(常勤)	・検診車ででの検診が難しい利用者が増え、病院の検診で検査を受けた。 ・冬期間の加湿器の使用や消毒方法について検討し、加湿器は効果が見られないため中止とした。 ・AEDを使用した心肺蘇生のケースが増えてきたため救命講習を定期的に行った。
みのちGHC	1人(常勤)	体調の急変を鑑み、業務用携帯を携帯した。
八雲日和	1人(常勤・兼務)	高齢利用者の身体機能の維持、認知症上の把握
信濃学園	2人(常勤)	感染症の予防、関係医療機関との連携
松本あさひ学園	1人(常勤)	感染症の予防、成長期の児童のため食欲が落ちない献立の工夫(パン食や夏場の麺類の導入)
松本ひよこ	2人(パート)	健康診断等の実施にあたり嘱託医との連携、癌罹患利用者への看護支援、精神科への入院利用者への支援
ほっとGH伊北	3人(パート)	感染症の予防、熱中症予防や対応策を各ホームへ周知
ほっとGH伊南		
伊那ゆいま〜る	2人(パート)	毎朝バイタルチェックを実施
西駒郷	4人(常勤)	感染症の予防(感染症対策指針)、早めの病院受診、救急救命研修の実施
	1人(パート)	

○健康診断等実施状況

(単位：人、回)

事業所	体制			内容		
	看護師		保健委員会 ／回年	定期健診回 数／回年	健診の種類 数／種年	健康相談回 数／回年
	常勤	パート				
水内荘	2	0	12	0	5	12
みのちGHセンター	1	0	12	1	2	適宜
信濃学園	2	0	4	2	8	適宜
松本あさひ学園	1	0	9	1	0	適宜
西駒郷	4	1	3	2	6	適宜
八雲日和	1	0	12	0	1	12
小春日和	0	0	0	0	0	4
こぶし	0	0	0	0	2	12
松本ひよこ	0	2	0	1	0	0
ほっとGH 伊北・伊南	0	3	0	1	0	1
伊那ゆいま〜る	0	2	0	2	0	適宜
ほっとワークス・みのわ	0	0	0	2	0	0
辰野町就労	0	0	0	2	0	適宜
辰野町地活	0	0	0	2	0	適宜
西駒郷	4	1	3	2	6	適宜
障がい者福祉センター	1	0	0			1

4 食事の提供

○ 食事提供の状況

事業所名	提供方法	給食委員会	特記事項
水内荘	給食	年5回	委託業者：(株)えぼし
八雲日和	外注	なし	外注弁当(小春日和)
小春日和	給食	なし	弁当を提供
こぶし	外注	なし	外注弁当(小春日和)
信濃学園	給食	年12回	委託業者：日清医療食品 郷土食、節感のあるメニュー、誕生日の希望献立、すしバイキング等
松本あさひ学園	給食	年9回	委託業者：(株)メフォス、常食・行事食の提供
松本ひよこ	外注	なし	外注弁当
伊那ゆいま〜る	外注	なし	外注弁当
ほっとW・みのわ	給食	年2回	少人数のため温かい食事の提供、畑で栽培した季節の野菜を食材として使用
辰野町就労・地活C	外注	なし	外注弁当
西駒郷	給食	年3回	委託業者：(株)メフォス 嚙下食、選択食、バイキング食、寿司キャラバンの提供

5 障がい者福祉センター事業

○主な文化事業実施状況

(単位：回、人)

区分	長野県障がい者文化芸術祭（文化講演会）	交流イベント	舞台発表・鑑賞会	芸術作品の展示会	障がい者の芸術作品展開催事業	文化教室	文化活動体験会
延べ回数	1	3	1	13	3	28	2
参加者数	1,005	737	261	920	3,398	252	32

○主なスポーツ事業実施状況

(単位：回、人)

区分	大会等	定期教室	通年教室	移動教室	レク大会	研修会	自由参加プログラム
サンアップル	4 (429)	11 (1,052)	6 (698)		3 (3,424)	2 (89)	4 (3,799)
サンスポートながの		2 (110)		42 (767)			
サンスポート駒ヶ根	2 (181)	5 (488)	1 (117)	92 (1,949)	3 (293)	1 (22)	4 (888)
サンスポートまつもと	2 (181)	9 (839)		276 (3,964)	2 (129)	2 (19)	1 (126)
サンスポート佐久	2 (224)	5 (431)		249 (3,899)	1 (113)	1 (18)	
実施回数計	10	33	7	659	9	6	9
参加人数計	1,015	2,920	815	10,579	3,959	148	4,813

注：（ ）は、教室の参加人数

○地域スポーツ支援リーダーの活動

(単位：回、人)

地域	リーダー数	指導回数等			内容
		回数	実人員	延人数	
北信	5	9	2	9	出張スポーツ教室、定期水泳教室、研修会講師
東信	8	19	4	19	
中信	6	26	3	26	
南信	8	5	2	5	
合計	27	59	11	59	

5 利用者本位のサービスの提供と社会的評価の促進

○顧客満足度調査

事業所名	回数	対象	事業所名	回数	対象
水内荘	1	利用者、家族	伊那ゆいま〜る	1	利用者、家族
歩楽里	1	利用者、家族	ほっと W・みのわ	1	利用者、家族
こぶし	1	利用者、家族	辰野町就労・地活	1	利用者、家族
信濃学園	1	利用者、家族	西駒郷	1	利用者、家族
松本あさひ	1	利用者、家族	サンアップル	12	利用者、家族、一般
松本ひよこ	1	利用者、家族	松本ひよこ	1	利用者、家族

○福祉サービス第三者評価

事業所名	評価機関
水内荘	コスモプランニング
みのちGHセンター	
八雲日和	
小春日和	
伊那ゆいま〜る	しなの福祉教育財団

○指定管理者制度導入施設の第三者評価の受審

事業所名	受審日	評価機関
信濃学園	平成29年11月16日	長野県
松本あさひ学園	平成29年11月30日	長野県

6 「本人部会」充実への協力

○本人部会の活動状況

(単位：回)

<やぐも会（長野）>

項目	回数	内容
会議	2	全体会、執行部会
余暇活動	6	豊野よいしよ祭への参加、マレットゴルフサークル(3)

<ともだちの会（ほっと GH 伊北・伊南）>

項目	回数	内容
会議	3	旅行、忘年会、余暇活動について
旅行	9	1泊2日(7) …東京湾・鴨川シーワールド、東京ドーム、氷川きよしコンサート、ディズニー等 日帰り(2) …伊那谷道中、南知多ビーチランド
余暇活動	6	ダンスサークル(月2回)、地域イベントへの参加
その他	1	忘年会

7 実践論文集の発行

本年度は募集をしたところ 7 編の応募がありました。（優秀論文は、次年度の全体研修時に表彰するとともに関係団体の主催する論文募集への応募を推奨します。）なお、平成 23 年から平成 29 年度までに応募された実践論文をまとめ「実践論文集」を次年度刊行します。

8 家族との連携

保護者会活動への協力や家族への情報提供及び利用者と家族の交流の機会を確保し、連携強化に努めました。

○事業所と家族の連携・協力状況

(単位：人)

事業所名	保護者会		家族の協力			
	会議等	視察等	環境整備	イベント	個別支援計画等	その他
水内荘	84	10	122	12	0	0
歩楽里			0	29	0	0
八雲日和			0	0	50	0
こぶし			0	0	2	0
信濃学園			15	*	0	*
松本ひよこ			0	34	0	0
伊那ゆいま〜る			0	0	43	0
ほっと W・みのわ			0	18	0	0
辰野町就労 C			0	10	14	0
辰野町地活 C			0	8	11	0
西駒郷	119	39	124	231	276	0

* 参加はあるが人数が未確認

9 地域・ボランティアとの連携

○主なイベント

(単位：人)

事業所	イベント名	開催日	参加者数	内 容
水内荘	泉水祭	7/21	448 人	ステージ発表、模擬店、花火等（泉平地区、泉平ハイツ、長野ブロック事業所）
みのち GHC	マレットゴルフサークル	5~9月	-	マレットゴルフ実施（温泉、昼食含む）、ボーリング大会、ゆたかのｽﾎﾟｰｯｸﾗﾌﾞ 出前講座参加
歩楽里	親子レクリエーション	4・7月	58 人	①ミニ運動会・バーベキュー ②昼食作り（パン焼き、竹ご飯炊き等）
八雲日和	八雲感謝祭	9/2	130 人	冷や麦流し、ステージ発表（高山アルプホルン）
小春日和	ジャズ日和	8・12月	47 人	ジャズを聴きながら食事を摂るイベント（地域の方に施設を知ってもらう機会）
	ビアガーデン	6月	12 人	ビアガーデン

信濃学園	のびろ祭	9/30	300人	松本養護学校信濃学園分室との共催、ステージ発表、作品展示、バザーなど
松本あさひ学園	ほほえみ祭	10/7	250人	松本あさひ太鼓演奏、相談コーナー、各種模擬店
松本ひよこ	ひよこ祭	6/18	150人	パン、生活介護生産品販売、事業所紹介の展示、ステージ発表、模擬店
ほっとW・みのわ	ほっとワークス感謝祭	9/16	250人	パン販売、ステージ発表、ダンス、太鼓、他施設展
西駒郷	にしこま祭	10/21	900人	ステージ発表、販売、展示等
	ほっと展	2/18～ 3/12	未確認	市内大型ホールでの利用者作品展
きらりあ	上伊那圏域福祉フォーラム	2/17	60人	地域自立支援協議会活動報告、講演「バンクーバーへの道」
障がい者福祉C	納涼祭	7/23	2,598人	地域の団体等によるステージ発表、職員による演劇、出店等
	クリスマスイベント	12/18	244人	音楽鑑賞、造形物製作体験等
	年末イベント	12/23	174人	職員によるシンクロナイミング発表、レクリエーション等

○地域での学習会、教室の開催

(単位：回、人)

事業所名	教室・講演名	回数	参加人数	内容
信濃学園	こまかさ教室	8	33	外部専門家による療育相談（言語、生活、運動、歯科、発達障がい等）
	こまかさ教室公開講座	1	133	「障がいのある人たちの自立と児童期に取り組みたいこと」講師：本田秀夫氏（信大附属病院こどものこころ診療部部长）
松本あさひ学園	学習会（県内児童施設連盟加盟施設）	1	18	仕事へのモチベーションについて

○地域住民との主な連携状況

事業所名	依頼事項	協力事項
水内荘	除草作業、抜根などの環境整備	賛育会との水害時における一時避難施設に関する協定
八雲日和	感謝祭のチラシを近隣住民等へポスティング実施	フラダンス教室へホールを開放
こぶし	牛乳パック回収	地域文化祭での物品販売、作品展示、交通安全教室への参加
信濃学園	裁縫ボラ、樹木剪定、環境整備、夏休みの支援ボラ、のびろ祭等	なし
松本あさひ学園	学習ボラ、お手玉講師、ほほえみ祭や事業所行事、山雅サッカー教室	女鳥羽川清掃、地域・事業団他事業所行事への参加（あさひ太鼓含む）

松本ひよこ	ひよこ祭、施設周辺の環境整備	施設周辺道路の除雪、路面の氷の除去、地域のお祭りでの販売、駐車場の貸出
ほっと GH 伊北	なし	空き缶拾い、周辺清掃
伊那ゆいま〜る	リサイクル回収	河川清掃、地域のお祭りへの参加
ほっと W・みのわ	しめ縄作り講師依頼、感謝祭など事業所行事	箕輪町ふれあい広場への参加
辰野町就労・地活C	第2回ほたるの里音楽祭への参加、牛乳パック回収	宮木地区夏祭りへの参加（販売）、辰野町ふれあい広場、ほたるの里音楽祭
西駒郷	西駒郷協力会、にしこま祭・ほっと展などの事業所行事、駒ヶ根市下平区・宮田村大久保区との連絡会	ビーンズ2号での中山間地移動販売、駒ヶ根市地域見守りネットワークへの参加、地域のイベントへの参加・出店、地区清掃活動等
障がい者福祉センター	下駒沢地区との協働防災訓練、納涼祭（下駒沢神楽、消防団演奏）	下駒沢地区防災訓練一次避難所

○サービス充実の主なボランティア受入状況

(単位：回、人)

事業所	日常支援			内容
	回数	延人数	実人数	
水内荘	12	47	25	話し相手、裁縫
歩楽里	7	9	9	事業所行事
信濃学園	17	26	26	長期休業の支援等
松本あさひ学園	56	58	6	学習ボウ、山雅サッカー教室
松本ひよこ	24	36	32	民生児童委員見学等
ほっとGH伊南	6	12	2	利用ボランティア
ほっとワークス・みのわ	15	94	9	ダンス、傾聴、しめ縄
伊那ゆいま〜る	10	10	10	腹話術、読み聞かせ
辰野町地活C	26	52	6	手話ダンス、お話し会、陶芸教室
西駒郷	259	259	13	プール支援、作業補助
障がい者福祉センター	16	226	27	広報文書発送、遊戯室清掃

事業所	清掃等			イベント			内容
	回数	延人数	実人数	回数	延人数	実人数	
水内荘	4	49	25	2	57	57	環境整備、お祭り
みのちGH C	0	0	0	1	4	4	ヨイショコ祭
歩楽里	0	0	0	5	16	10	親子レク、児童長期休暇
信濃学園	15	62		2	35	35	環境整備、イベント等
松本あさひ学園	1	1	1	4	37	36	修繕、お祭り等
松本ひよこ	6	12	12	1	22	22	清掃、除草、ひよこ祭
ほっとGH伊南	0	0	0	0	0	0	
ほっとワークス・みのわ	0	0	0	1	95	95	感謝祭

伊那ゆいま〜る	0	0	0	3	5	3	スポーツ教室、剣道会等
西駒郷	6	69	62	10	51	49	行事、コンサート
障がい者福祉センター	0	0	0	18	242	45	各種スポーツ大会、イベント等

10 入所施設利用者の地域生活移行の推進

○平成14年度以降の地域生活移行者数

(単位：人)

区分	H14～ 15	H16～ 20	H21～ 25	26	27	28	29	累計
水内荘	0	28	13	1	0	0	0	42
信濃学園	0	0	6	2	6	1	2	17
西駒郷	46	201	48	13	2	1	0	311
合計	46	229	67	16	8	2	2	368
西駒郷リターン	0	10	5	0	1	0	0	16

11 地域福祉サービス体制の充実

(1) セーフティーネット機能強化

ア 短期入所利用状況

区分	延入日数	実人数	1日平均	昨年度1日平均
水内荘	1,192人日	18人	3.3人	3.1人
信濃学園	93人日	31人	0.1人	0.1人
西駒郷	1,503人日	12人	4.1人	4.9人

イ 日中一時支援

区分	延入時間	実人数	1日平均	昨年度1日平均
信濃学園	177時間	27人	0.1人	0.1人

ウ 放課後等デイサービス利用状況

区分	延入日数	実人数	1日平均	昨年度1日平均
歩楽里	2,365人日	40人	7.7人	7.8人

(2) 各種関係機関及び団体との連携

地域の福祉ニーズの把握や課題解決に向けての施策を検討するため各圏域の地域自立支援協議会へ職員が積極的に参加しました。県や関係市町村、サービス事業所、NPO法人等の関係機関と連携し、障がい児者の地域生活を支えるシステムの整備と強化を検討しました。なお、前年度から実施しました障がい者スポーツの振興策を検討するために長野県障がい者スポーツ協会への職員派遣（1名）を実施しました。

(3) 居宅介護サービスの状況

○居宅等介護事業の実績

(単位：人、時間)

区分			居宅介護			重度訪問介護	行動援護	地域生活支援事業		自立サポート支援事業	合計
			身体介護	家事援助	通院介助			移動支援等	タイムケア		
歩楽里	登録	29年度	2			0	20	19	31	33	105
		28年度	1			0	21	19	25	34	100
	実績	29年度	3	0	4	0	3,210	1,180	1,485	779.5	6,661.5
		28年度	62.0	0	0.0	0	3,513.5	899	669.3	927.5	6,071.3
ほっと居宅	登録	29年度	62			0	16	111	0		189
		28年度	61			0	16	106	0		183
	実績	29年度	5.0	180.5	2474.0	0	843.5	7203.0	0		10706.0
		28年度	10.5	114.0	1,557.5	0	941.0	7,663.5	0.0		10286.5

(4) 相談支援事業の状況

○相談支援実施状況

(単位：人)

	配置人数		特定相談		障がい児相談		一般相談	
	専従	兼務	サービス等利用計画	モニタリング	サービス等利用計画	モニタリング	地域移行支援	地域定着支援
水内荘	0	4	12	47			0	0
歩楽里	1	3	142	271	47	51	0	0
松本ひよこ	0	2	26	26	0	0	0	0
ほっとGH伊北	1	0	0	11				
伊那ゆいま〜る	1	0	25	2				
ほっとW・みのわ	0	2	28	2				
辰野就労C	1	1	24	14				
西駒郷(駒ヶ根)	0	9	62	81			0	1
西駒郷(宮田)	0	5	48	40			0	0
きりあ	5	0	146	43	57	46	12	22

(5) 余暇(スポーツ(運動)・文化)活動支援体制の整備

○事業所レクリエーション事業(余暇活動支援)

<所内実施事業>

(単位：回)

事業所		季節行事	誕生会	スポーツ	文化	その他	回数
入所	水内荘	7(お花見、泉水祭、忘年会他)	12(バースカード)	24(アソビ)	48(音楽療法)	2(退所者お別れ会)	93
	信濃学園	5(夏祭り、クリスマス会、餅つき会等)	12(希望メニュー)	0	0	0	17

	松本あさひ学園	8 (出発の会、BBQ、クリスマス等)	適時 (希望献立)	10 (あさひ分校運動会)	5 (ほほえみ祭)	0	23
	西駒郷	26 (お花見、暑気払い、忘年会等)	33 (食事時)	26 (軽スポーツ、スポーツ大会)	10 (映画鑑賞、調理)	28 (聴導犬交流等)	123
通所	八雲日和	4 (クリスマス、焼き芋、豆まき)	0	0	12 (イルクーン)	12 (昼食)	28
	小春日和	1 (忘年会)	0	0	0	3 (活動報告)	4
	こぶし	2 (クリスマス、正月遊び)	10	10 (レクスポ)	15 (郷土食、墨遊び等)	0	37
	松本ひよこ	7 (花見、七夕、BBQ、焼き芋等)	5	12 (ダンスポート教室)	30 (陶芸・絵画教室)	0	54
	辰野就労C	1 (暑気払い)	0	2 (圏域スポーツ大会練習)	0	1 (加杖)	4
	辰野地活C	2 (節分、七夕)	0	24 (軽スポーツ)	0	0	36
	ほっとWみのわ	4 (暑気払い、忘年会等)	0	11 (ダンスポート教室、手話ダンス)	0	0	14
	伊那ゆいま〜る	8 (花見、七夕、クリスマス等)	1	0	10 (腹話術等)	3 (おやつ作り)	22
GH	みのちGH C	各ホームごとで実施		3 (レットゴルフサークル)	—	—	3
	松本ひよこ	各ホームごとで実施		—	—	—	—
	ほっとGH 伊北	各ホームごとで実施		—	—	—	—
	ほっとGH 伊南	各ホームごとで実施		—	—	—	—
相談他	歩楽里	—	—	—	—	2 (親子ゆ)	2

<所外実施状況>

(単位：回)

事業所	季節行事	食事会	スポーツ	各種鑑賞	旅行	地域行事他	回数	
入所	水内荘	0	0	1 (リフトボール大会)	0	5	1 (音楽療法、コンサート)	7
	信濃学園	3 (さいさい祭、波田文化祭等)	小グループの外出	1 (スキー教室)	2 (コンサート)	0	随時 (個別外出)	42
	松本あさひ学園	9 (地域清掃等)	随時 (焼肉会)	1 (連盟球技大会)	4 (Jリーグ観戦等)	1 (日帰り)	1 (サンアップル文化芸能発表会)	16
	西駒郷	4 (イカ狩り、)	15 (外)	49 (各種スポーツ)	5 (演奏)	16 (泊旅)	25 (バスツアー)	114

		明治亭招待)	食)	-ツ大会)	会、展示 会)	行等)	ブ、地域文化 祭等)	
通 所	八雲日和	6(飯山、善 光寺等)	2 (小春 日和)	24 (ストレッチ 教室)	1 (演奏 会)	3 (日帰 り)	12 (誕生日 会)	48
	小春日和	3 (花見、善 光寺初詣)	0	0	1 (サンアッ ル行事)	1 (日帰 り)	4 (加杵、交流 会等)	4
	こぶし	4 (花見、パ ラ鑑賞等)	1 (慰労 会)	0	0	1 (バス イ)	2 (加杵)	8
	松本ひよこ	2 (花見、新 年会)	1 (焼肉)	0	1 (映画鑑 賞)	0	1 (事業団他 施設見学)	5
	辰野町就労 支援 C	3 (花見、忘 年会)	0	1 (圏域ス ツ大会)	0	0	0	4
	辰野町地活 C	3 (花見、忘 年会)	0	0	3 (美術鑑 賞)	0	5 (ドライブ散 策)	11
	ほっとワークス・み のわ	0	0	0	0	0	2 (ふれあい広 場、にしこま 祭)	2
	伊那ゆいま〜 る	1 (花見)	6 (花見 等)	2 (サンポ ート 教室)	11 (プラネ リウム等)	3 (バス イ)	9 (ドライブ)	32
G H	みのちGHC	各ホームごとで実施					-	0
	松本ひよこ	各ホームごとで実施					-	-
	ほっとGH伊 北	各ホームごとで実施				9 (泊、日 帰り)	-	9
	ほっとGH伊 南	各ホームごとで実施					-	
相 談 他	歩楽里	-	6(サンアッ ル体 操教室)	-	-	-	6	

(6) 地域貢献活動

地域貢献活動は、社会福祉法の改正により社会福祉法人の責務として義務付けがなされました。そのため、地域貢献活動事業を確実に推進できるように、地域貢献活動委員会を中心に検討を行いました。

○各事業所の地域貢献活動計画

事業所名	主な活動内容等
水内荘	・施設整備の開放
みのちGHC	・地域生活者のホーム利用の受け入れ
歩楽里	・施設整備の開放
八雲日和	・援農 ・地域の雪かき
小春日和	・地域の独居老人宅の安否確認

こぶし	・地域イベントへの協力
信濃学園	・在宅の障がい児及びその家族を対象とする療育方法を学ぶ場の設置
松本あさひ学園	・地域イベントへの協力 ・地域の子育てを支援するための学習会の開催
松本ひよこ	・施設整備の開放
ほっとG H伊北	・地域生活者のホーム利用の受け入れ
ほっとG H伊南	・地域生活者のホーム利用の受け入れ
伊那ゆいま〜る	・公共のごみ置き場の定期的な清掃活動
辰野就労C	・中山間地の住民へのラーメン販売
辰野地域C	・地域住民との交流イベントの実施
西駒郷	・駒ヶ根市「地域見守りネットワーク協力事業所」への登録
障がい者福祉C	・地域スポーツ支援リーダーの養成と派遣

(7) 信州駒天駅伝大会

第7回目となる「信州駒天駅伝大会」は、10月22日ににしこま祭と併催の形で開催しました。伊那養護学校や地域グールホームを含む7チーム37人が参加して盛大に開催されました。

事業報告書附属明細書

補足すべき重要な事項はありません。